

天草版ESD対応型教育旅行推進事業

【団体名】天草地域教育旅行受入協議会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 天草地域は、自然景観や体験型観光資源に恵まれ、かねてより修学旅行の受入れ先として人気の高い地域であったが、熊本地震や近年のコロナ禍によって大幅に受入数が減少し、その回復が急務となっています。
- 一方、教育現場では、アクティブラーニングや、ESD（Education for Sustainable Development）といったSDGsに対応したカリキュラムを導入する等、時代の要請に応じた変化が見られることから、それらに対応した教育旅行プログラムを他地域に先駆けて構築・提案することにより、新たな教育旅行需要を掘り起こすとともに、将来の天草地域の観光需要創出を図ります。

取組みの概要

- ◆ 教育現場のニーズに沿った**教育旅行プログラムの構築**と、地域全体での受入態勢の強化を図るため、教育旅行専門家による**ファシリテーターガイド育成研修**や会員（宿泊事業者）の**スキルアップ研修**に取り組んできました。
- ◆ また、ESDに対応した旅行プログラムを作成するにあたって、天草ならではの自然環境や伝統文化等の素材を掘り起こし、専門家の監修の下、セールスプロモーションツールとして編集した**ガイドブック**を製作しました。



取組みの成果・現在の取組み状況

令和4年度は、同ガイドブックを活用し、令和5年度の教育旅行の仮予約確保のため、関西・中国方面への積極的な営業活動に取り組んでいます。

（R2年度）

- ・スキルアップ研修の開催
- ・観光素材の掘り起こし

（R3年度）

- ・ファシリテーターガイド研修会の開催（4回）
- ・プロモーションツール（ガイドブック）の製作

過去5年間の教育旅行受入数の推移（単位：人）

	H29	H30	H31	R2	R3
宿泊	1,236	1,814	1,553	1,038	3,567
体験	582	1,327	813	368	1,768
昼食	604	1,594	914	0	1,018

